

在宅医療支援システム研究会次第

日時 令和8年5月26日（火）
18時30分～

場所 介護老人保健施設くろかみ 研修室

1 開 会

2 あいさつ

3 報告、情報提供

① おれんじ通信にいみについて(高齢者支援課)

② 新見市成年後見相談センターについて(新見市社協)

③ 令和8年度第1回多職種連携・人材育成研修会(5/21)の報告(まんさく)

④ 令和8年度認知症研修会(6/22)の案内(まんさく)

4 協議事項

次回開催日

令和8年6月30日（火）

チームオレンジの活動

新見市の高齢化率は45%を超え、自分や家族を含めて、あらゆる人が認知症に関わる時代になっています。新見市では、認知症になっても好きなことや、やりたいことをあきらめず、自分らしく暮らしていくことができるまちを目指しています。

やりたいことができ、楽しいひと時を共に過ごすことができる仲間、「忘れやすくなったけど、これからもよろしくね。」と言い合える仲間の輪を増やしていきたいと思っています。

認知症の本人、家族と認知症サポーターがともに暮らしやすい街になるよう、「チームオレンジ」の活動に取り組んでいます。新見市では現在、手芸活動を中心とした「ロバの会」、歌を歌う「歌おう会」、花の手入れを行う「すみれ会」があります。やりたいことを楽しんで実現しています。



お雛飾りのロバ達「ロバの会」



わきあいあい「すみれ会」



楽しく歌う♪「歌おう会」



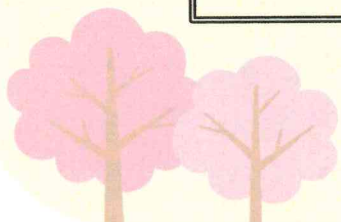


認知症ステップアップ講座

新見市では、令和3年度から「認知症サポーター養成講座」を受講した人でさらなるボランティア活動への参加を希望される人を対象に、「ステップアップ講座」を実施しています。

ステップアップ講座では認知症について知識を深め、認知症の人への地域での見守り、声かけなどの活動をしていただける方を育成しています。ステップアップ講座を終了した方々は「オレンジの会」として認知症に関する啓発活動や認知症カフェへの参加の活動を行っています。認知症に関するボランティア活動に興味がある方は、ぜひご参加ください。

ステップアップ受講修了者数⇒45名



令和7年度誕生!!

認知症サポーター・キッズサポーター



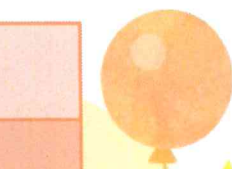
認知症サポーター⇒279人

うちキッズサポーター⇒118人

(令和7年度新規受講者人数)

認知症サポーターとは認知症について正しく理解し、偏見を持たず、認知症の人や家族を温かい目で見守る『応援者』です。近所で気になる人がいればさりげなく見守る、困っている人がいたら手助けすることが活動です。

「認知症サポーター養成講座」を受ければ、だれでも認知症サポーターになることができます。





新見で〜れ〜ええ体操

パート
4

①首まわし→左右1回



肩こりや
頭痛の
軽減に効果

ポイント！
5秒かけてゆっくり回す

②肩の運動→左右2回



肩こりや
首こりの
予防に効果

ポイント！
背筋を伸ばした状態で
胸を広げるように行う

③体ひねり→左右5回



腰痛予防や
お腹の筋肉を
鍛える効果

ポイント！
呼吸を意識しながら行う

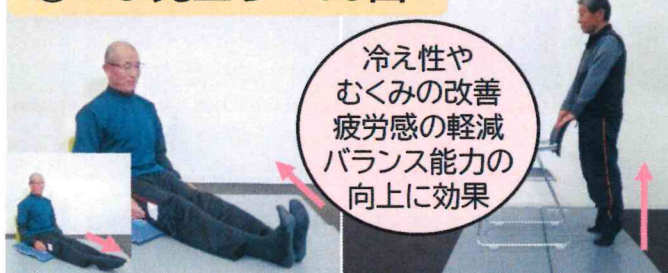
④股開き→5回



お尻の筋肉
が鍛えられ
転倒予防に
効果

ポイント！
膝が内側にならないよう
に注意する

⑤つま先立ち→10回



冷え性や
むくみの改善
疲労感の軽減
バランス能力の
向上に効果

ポイント！
すねとふくらはぎに力が
入るように行う

⑥立ち座り→10回



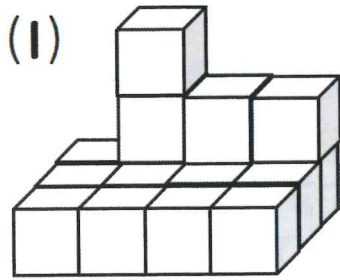
足全体の
筋力の改善と
心肺機能の
向上に効果

ポイント！
5秒かけてゆっくり行う

脳トシに挑戦!

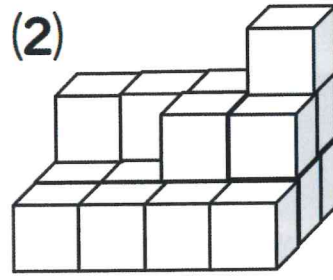
①ブロック数え

積まれているブロックは全部でいくつでしょう。



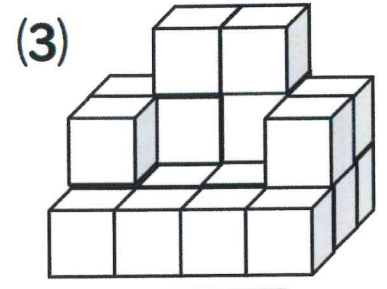
(1)

個



(2)

個



(3)

個

新見市内のオレンジカフェ(認知症カフェ)

ゆずり葉カフェ

【開催日時】

日時：4月25日(土)、6月13日(土)、
8月22日(土)10:00~

参加費：200円

会場：特別養護老人ホームゆずり葉
1階交流スペース

【問い合わせ】

特別養護老人ホームゆずり葉(新見)
☎71-0077

ピオーラカフェ

【開催日時】

日時：奇数月第4水曜 13:30~
参加費：200円

会場：新見市地域福祉センター

【問い合わせ】

新見市社会福祉協議会(金谷)
☎72-7306

カフェきらめき

【開催日時】

日時：毎月第1水曜
(5月は第2水曜) 13:30~

参加費：200円

会場：きらめき広場哲西

【問い合わせ】

NPOきらめき広場(哲西町矢田)
☎88-8112

おれんじカフェおおさ

要申込み!

【開催日時】

日時：6月25日(木)13:30~15:30

参加費：100円

会場：わが家

【問い合わせ】

小規模多機能ホームわきあいあい(大佐)
☎98-3737

さくらの丘カフェ

【開催日時】

日時：5月21日(木)13:30~

参加費：100円

会場：神郷公民館新郷分館

【問い合わせ】

にいざとさくらの丘 ☎93-9051

予定は変更になる
場合があるので各
カフェにお問い合わせ
ください。



☎02(☎) ☎61(2) ☎91(1)①：景梅

■発行元：新見市 新見市役所 地域包括支援センター ☎0867-72-6209



せいねんこうけんせいど

成年後見制度

成年後見制度とは、認知症、知的障がい、精神障がいなどにより判断能力が十分でない方が、自分らしく安心して暮らせるように、本人の権利や財産を守り、本人の意思を尊重した生活ができるよう支援するための制度です。

◎例えば…



福祉施設の入所などの契約ができない!!

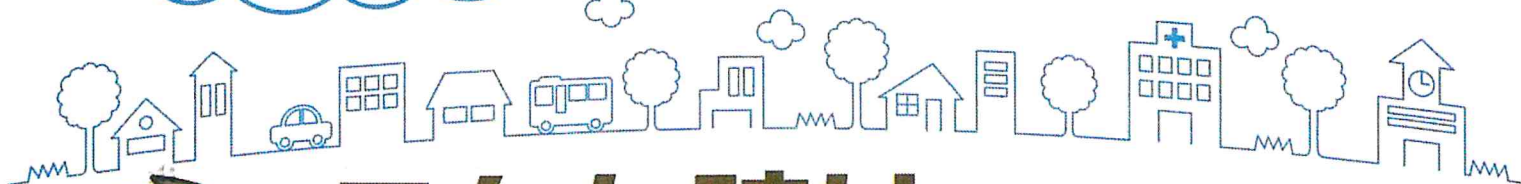


頼れる親族がいない!!

預貯金の管理や解約ができない!!



消費者トラブルが怖い!など



こんな時は ぜひご相談ください

相談無料・秘密厳守

新見市成年後見相談センター

☎0867-72-7306

受付時間：月曜日～金曜日 9:00～17:00

●後見人ってどんな人がなれるの？

家庭裁判所が、成年後見制度を利用する人の権利を守るという重要な責任を果たすのにふさわしい人を選任します。制度を利用する人(本人)の心身の状態や生活状況、成年後見人となる人の職業や経歴、本人との利害関係の有無、その他一切の事情を考慮し、親族のほか、弁護士や司法書士、社会福祉士、法人などから選任されます。

●手続きの流れ



- ・預貯金の管理や解約ができない。
 - ・福祉施設の入所などの契約ができない。
 - ・自分に不利益な契約をしてしまう。
- など、判断能力が低下してきたら…



**関係機関や弁護士・司法書士
新見市成年後見相談センター等に相談**

★まずは成年後見の申立を!!

家庭裁判所に申立

成年後見人等の決定

成年後見人等による支援

●成年後見人等は本人に代わって次のことができます。

身上監護

本人の意思を尊重し、心身の状態及び生活の状況に配慮した支援を行います。

例) 高齢者施設、介護保険サービスの各種手続きや費用の支払い/
障害福祉サービスの利用手続き/定期的に訪問し生活状況の確認など

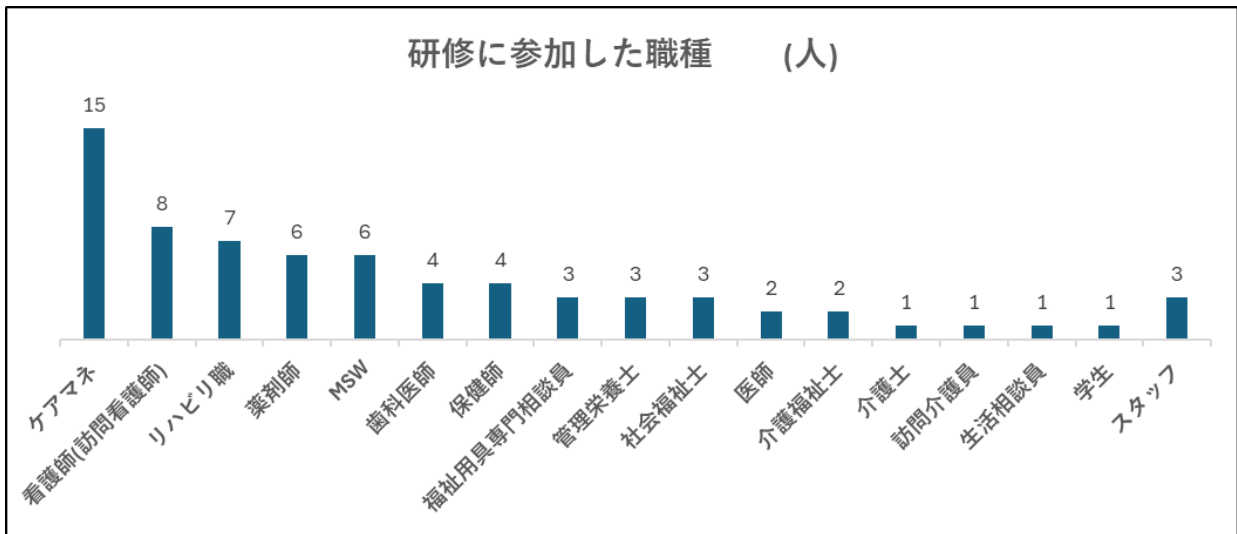
財産管理

本人に代わって財産管理を行います。

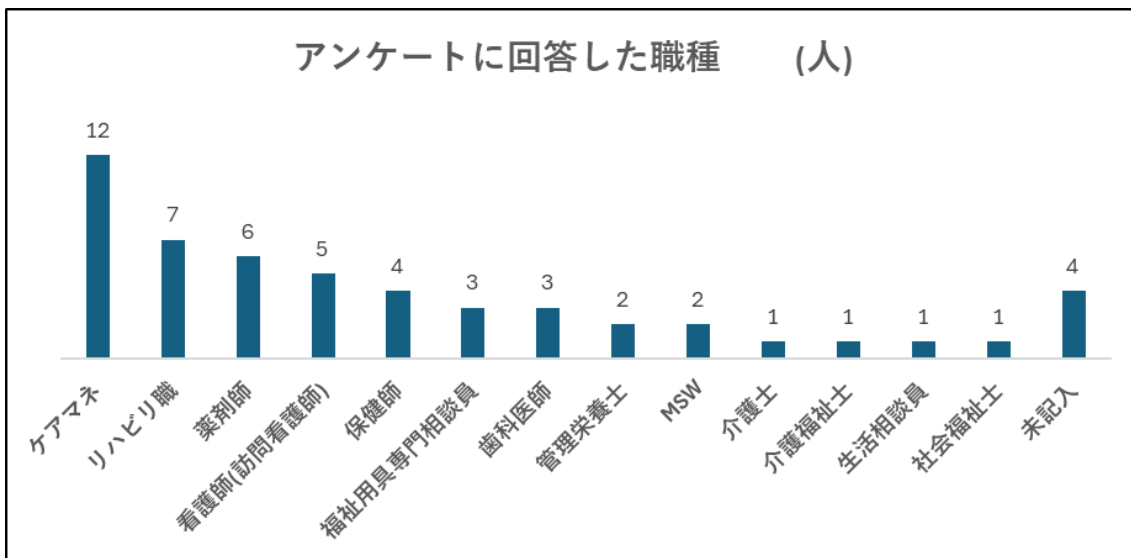
例) 印鑑、預貯金通帳の管理/収支の管理/不動産の管理など

令和 8 年度第 1 回多職種連携・人材育成研修会「多職種連携会議」アンケート集計結果

参加人数：70 名

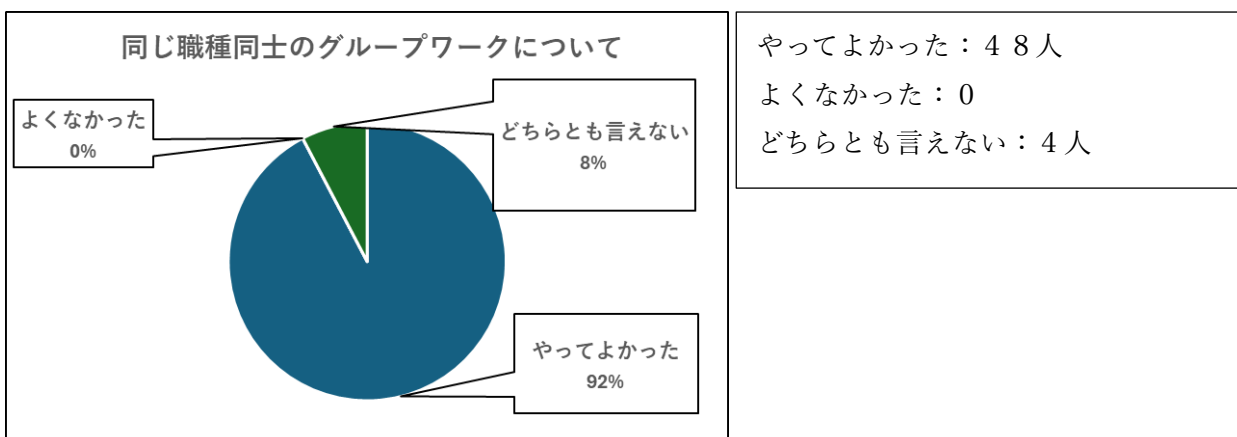


アンケート回答者数：52 名



1 本日の多職種連携会議について、選択肢の中から 1 つ選んで○を付け、それを選んだ理由をお書きください。

① 同じ職種の方とのグループワークをしていかがでしたか。



「やってよかった」を選んだ理由

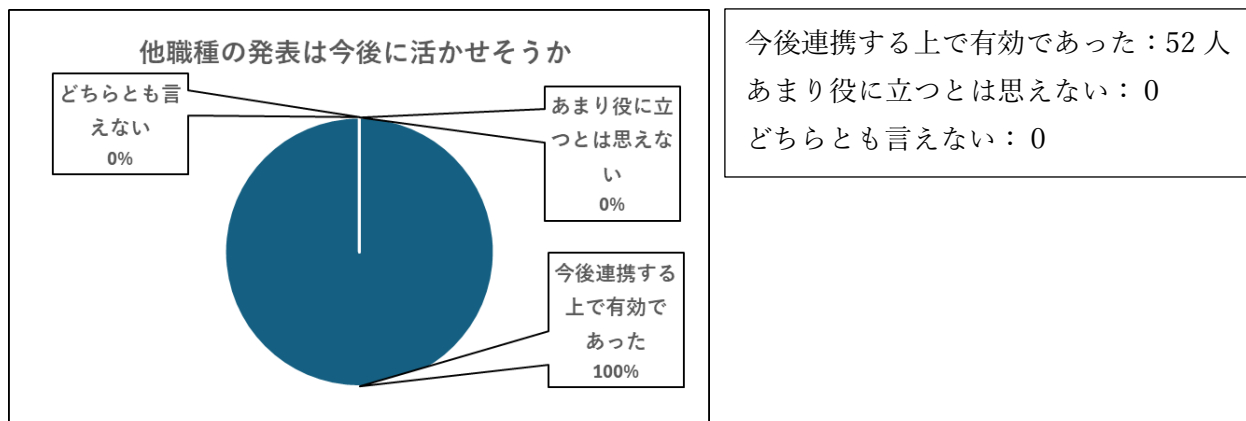
- ・自分の役割の再確認ができた。
- ・日頃思っていることを共有できた。
- ・日頃から思っていた大変さやもどかしさを共有できた。
- ・みんなの思いが一緒と分かってよかった。
- ・ざっくばらんに話ができて楽しかった。
- ・同じような思いを持っていた。
- ・同じ職種でも感じている事が違うということがとてもよく分かった。
- ・さまざまな職種の方と顔合わせし、話もできた。
- ・日々、なかなか話をする機会がないので、今日は福祉用具についての話ができて良かった。
- ・他の意見が聞けたことがよかった。
- ・色々な話が聞けた。
- ・他施設の取り組みが聞けてよかった。
- ・多職種の方と交流できてよかった。
- ・同じ悩みや考えなのがわかった。
- ・自分の職種についてよく考え直すことができた。
- ・他職種に対して思っていることなど、共通認識や差があるのを確認できた。
- ・一緒に考え、共有することができた。
- ・同職種への熱い思いが聞けた。
- ・同じ悩みを共有できた。
- ・いろんな話が聞けて良かった。共感できた。
- ・他の施設での取り組みの様子を知ることができた。
- ・改めてそれぞれの職種のいいところがわかった。
- ・自身の職種についての考えを自分の中で再確認できた。また、他の人からの新たな考えを得ることができた。
- ・それぞれのPTの思いや考えを知ることができた。
- ・同じ職種の方と改めて自分の仕事について話ができたから。
- ・自職種の目指すべきところを再確認できた。
- ・他店の話を聞けた。他店の方と話をする機会になった。
- ・情報共有ができた。
- ・同業者と話す機会があまりないので、他の薬局の状況が分かり自店舗と比較することができた。
- ・最初は「同じ職種で？」と思っていたが、職場は違っていたのでいろいろな話を聞くことができた。
- ・自分の職種についての振り返りができた。
- ・同じ気持ちを共有し考えることができた。
- ・同じ職種同士で意見交換ができた。
- ・他の施設の内容をよく知ることができた。また、共通の悩みなどを聞くことができた。
- ・業務の共有や業務に対する思い等を共有できたから。
- ・普段グループワークをすることがないので、お互いの職場での違いや役割について確認することができた。

「どちらとも言えない」を選んだ理由

- ・同じ職場だったので広がりやがなかなかなかった。
- ・いつも会っているので新鮮味がなかった

- ・同じ職場の人がほとんどだった。
- ・どちらにもメリットがあり、決め難い。

② 他の職種のグループ発表を聴いて、今後に活かそうですか。

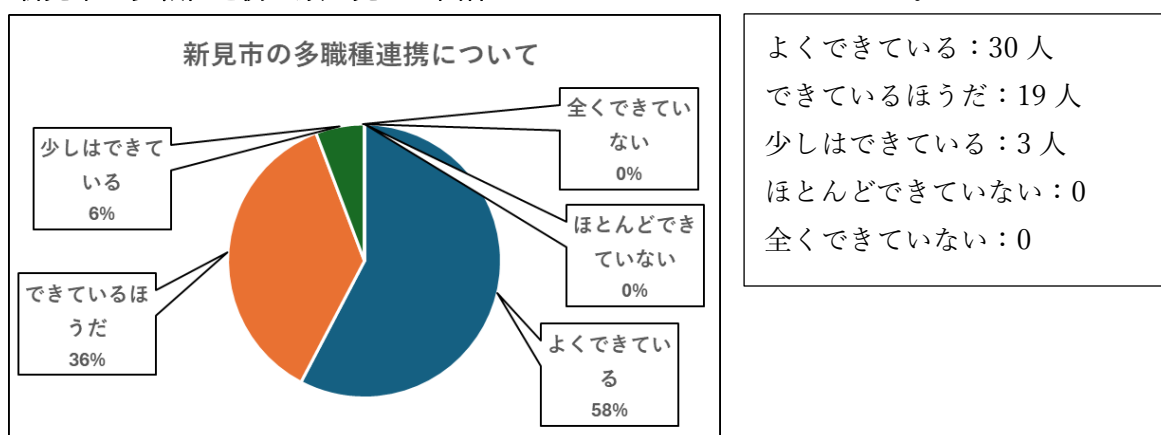


「有効であった」を選んだ理由

- ・知らない情報がわかった。顔がわかった。
- ・言いにくいことも言いやすかった(のではないかと思う)。
- ・普段聞けない話を聞いた。
- ・普段の業務では知ることができないことも聞くことができた。
- ・それぞれの職種に対する思いを知ることができたから。
- ・「情報は早めに欲しい」「専門の方からの情報が欲しい」ということがわかり、これを生かしていきたい。
- ・他の施設の内情や特性を掴めた。
- ・困った時、悩んでいる時に相談できる方法の情報を知ることができた。
- ・他職種に相談したり、情報共有したりするための情報を得られた。
- ・他職種の仕事の内容や求めるものが知れた。
- ・他の職種の方の役割や求められることを知れたことはありがたいと感じた。
- ・他の病院の方とも交流する機会があったから。
- ・仕事の事や思いを知ることができ、連絡をとる時に気にして伝えてみようと思う。
- ・よく知らなかった職種の方への理解につながった。
- ・どの職種にもやさしく対応したい。
- ・Win-Win の関係ができることがわかった。
- ・医療を安全に行うためには情報が必須なので。
- ・お互いに必要とされる内容を理解し合えた。
- ・他職種の悩みが聞いた。他職種の役割や思いを知り、どこも連携に前向きなことがわかってよかった。
- ・各職種の役割について知らないこともあったのでとても参考になった。
- ・良くわかっていなかった役割を知ることができて良かった。
- ・加算が勉強になった。
- ・加算の件はそれぞれ違う要件があるのがわかった。薬局さんは大変だけど良くしてくださると思った。
- ・専門職種の取り組みを知ることができた。

- ・いろいろな情報がわかってよかった。
- ・知らない組織があったので、今後利用できるところは利用したい。
- ・他職種との連携ができそうだ。
- ・他職種の内容を知ることができたため。
- ・MCSにより連携が良くなっていき、今後の活動に活かせると思った。
- ・普段聞けない他職種の意見が聞けたため。
- ・他の職種の役割、仕事内容が良くわかった。
- ・それぞれの思いがわかった。
- ・改めて他の職種の仕事内容やどう感じているか等知ることができた。初めて知ることもあった。
- ・職種によってできる事や願いを聞くことができることがわかり、頼んでみようと思った。
- ・それぞれの職種の視点がわかった。
- ・今後の連携に役立つ。

2 新見市の多職種連携や顔の見える関係づくりについてどう思われますか。



「よくできている」を選んだ理由

- ・各グループで笑顔が見られていたから。
- ・効率の良い情報交換ができる。
- ・顔を知っている人が多く、連携しやすい。
- ・楽しい空気で参加できた。
- ・研修などで会う機会があるから。
- ・今回の会議など、職場を超えて多職種が集まる場があり、様々な人と知り合える場があるから。
- ・電話した時、相手の顔を思い浮かべながら報告ができている。
- ・電話では話ができるが、顔をみるのが初めての人もおり、知れて良かった。
- ・初めての参加だったが、たくさんの職種の方々が参加していて驚いた。
- ・定期的にイベントが行われている。
- ・実際によく相談を受けている。患者さんを紹介いただく機会が多いので。
- ・人数が多く、活気のある研修会が多い。
- ・良かった。
- ・新見市は病院、施設など数が少ない分、顔の見える関係ができていると思う。顔の見える関係だからこそ連携が上手くいく。
- ・県内で一番と実感している。
- ・各職種の仕事の内容が聞けるので大変良いと思う。

- ・多職種の集まる研修等を多くされているため。
- ・そう感じました。
- ・アットホームな関係が伺えた。
- ・顔の見える関係ができています。

「できているほうだ」を選んだ理由

- ・まだまだたくさんの事業所や機関があるので参加者が増えたらいい。
- ・今回の様な行事がある。
- ・こういった研修会に最終的に多くの方が出席して関係づくりをしている。
- ・みなさん、他の方をよく知っておられる。他職種の内容もよく知っておられる。
- ・地域包括等、多くの参加となっていたため
- ・岡山市内では地域ごとで規模が様々で、大きいところだと会議があっても会話できず終わるケースが多い。
- ・多職種連携の研修会が多い。
- ・定期的な多職種連携会議がある。直接顔を合わせることが多い。
- ・外出リハビリや院内の関わり等で多職種の連携はできていると思う。
- ・「あ！見たことがある」がよくあるので、顔の見える関係づくりができていると思う。
- ・連携会議を継続して開催している。
- ・病院を訪問したり各事業所を訪問したりする機会が多い。今回の様な多職種連携会議がある。
- ・連携を取りやすい。いつでも対応してくれる。
- ・小さい市であるので、顔の見える関係は他と比べてできていると思うが、連携の質については比較がなかなかできないので良くわからない。
- ・とてもチームワークが良い印象を持った。

「少しはできている」を選んだ理由

- ・顔の見える人と見えない人が偏っている。
- ・このような機会をいただいたことで関係性を作るきっかけになったと思う。

3 感想、意見等

- ・様々な職種の方の話を聞くことができとてもよかった。
- ・違う職種の思いややっていることが聞けてよかった。
- ・たくさんの職種が普段感じていることや聞きたくても聞けなかったことを確認できて良かった。
- ・他職種の役割やお願い事等を聞いたこと。また、自分の職種のお願いなどお互いに連携できることを改めて確認できた。日頃連携を取らない所との話ができた。
- ・今後も継続していただきたい。Webなどで開催できてもいいかな。
- ・いろいろな方の話が聞けてよかった。
- ・様々な想いを知れて有意義な時間になった。
- ・初めてお会いさせていただく方も多くおられ、このような機会を与えてくださったことに感謝している。
- ・同職種で集まったのが新鮮だった。
- ・職種ごとの発表により、各職種の職能を理解できた。
- ・在宅医療・福祉の支援体制における関係機関が知れて良かった。福祉の管理栄養士は配置人数が少

なくまた、管理者による専門職の認識が薄く研修会等の文書が回らない。情報の共有が大きな課題に思う。

- ・年に1回はこういった研修も良いと思うが、あまり研修に参加しない方との関係づくりも考えていきたいと思った。
- ・知らない職種があったので参考になった。
- ・初めてお会いした方も、顔は知っているけど話したことがなかった人とも話げできた。
- ・初めて参加した。市内の多職種の方の役割や取り組まれていること、リアルな言葉が聞けて貴重な機会だった。役員の方々、準備等ありがとうございました。
- ・それぞれの立場、役割、加算等知らないことがわかった。
- ・難波さんの司会はうまい。
- ・他職種の内容をより知ることができて良かった。
- ・グループ発表時は各職種のことが良くわかった。次回も楽しみにして参加させていただきたいと思う。
- ・多くの方が参加していることにすごいと思った。新見のいいところですね。
- ・皆さん、自分の仕事への思い、患者さん、利用者さん、地域への色々な想いを持って頑張られていることを知れて良かった。
- ・とても良かった。
- ・楽しかった。
- ・自分がよく知らなかった職種の方の話が聞けてとても勉強になった。
- ・発表のとき急に振られて話をした方々のお話を聞いて、自分の職種に誇りを持って、前向きに仕事をされていることがとてもよく伝わってきた。良い話が聞けて良かった。
- ・職種別も良いが他職種がせっかく集まる機会なので多職種のグループワークも行いたい。
- ・困ったらいろいろ早めに相談したい。
- ・いろいろな職種の方と話げできたし、各々の特性がわかってよかった。
- ・初めてお会いした方とも交流げできた。良い経験になった。
- ・みなさんとお話しをして職種のことをもっと知ることができた。ありがとうございました。
- ・大勢の人と意見交換げできた。おやつは一人一人の方が食べやすいです。
- ・貴重な意見交換げできた。
- ・普段電話でやりとりをする他職種との顔合わせげできたことが良かった。
- ・多くの参加があり活気があってよかった。楽しく話をすること、聞くことができた。楽しい時間でした。
- ・次回も参加したい。

4 来年の多職種連携会議のテーマについて

- ・ACPについて、進め方、トラブル対応、流れの統一
- ・どういうタイミングで他の職種に連携する必要性を感じるのか知りたい。
- ・ACPのツールを使ってみよう！
- ・ACP
- ・事例検討
- ・新見市での在宅生活について困っている事、今後の課題など話してみたい。独居の方が増えているので、地域への発信もできたら良いと思う。
- ・連携の悩みについて話したい。

- ・年1回はワールドカフェ方式がいいかも。
- ・ケースカンファレンス
- ・いろんな職種でこんな内容というものや問題点を、研修の形で実例をもとに具体的に教えていただきたい。
- ・仕事をしていて課題を感じる事をそれぞれの職種ずつ挙げていき、その課題について解決策をグループで話し合う。グループはいろいろな職種で。
- ・今回みたいなグループ分けをしたことで、より他職種の意見が聞けたと思う。

令和8年5月吉日

医療・介護関係事業所等 管理者 様

一般社団法人 新見医師会
会長 吉田 徹
高梁・新見地域認知症疾患医療センター地域連携会議
新見部会長 土井浩二
(公印省略)

認知症の研修会開催のご案内

謹啓 小満の候、ますますご健勝のこととお慶びを申し上げます。平素は、高梁・新見地域認知症疾患医療センター地域連携会議新見部会及び新見医師会の活動につきまして、ご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、例年開催しております専門職対象の認知症研修会ですが、今年度はOiBokkeShi 主宰の菅原直樹様をお招きして「演劇体験を通じて楽しみながら認知症の人とのコミュニケーションを考えるワークショップ」を計画しております。

日中の開催でお忙しいことと存じますが、貴施設・事業所・機関でのご配慮、お声かけをお願い申し上げます。

謹白

記

- 1 日 時：令和8年6月22日（月） 13：30～15：30
- 2 場 所：新見市役所 南庁舎3階 大会議室
- 3 内 容：「老いと演劇のワークショップ」

講師：「老いと演劇」OiBokkeShi 主宰 菅原直樹 氏

【ワークショップ】

参加者同士で認知症の人と介護者を交互に演じて、認知症の人の言動を否定せずに受け入れるコミュニケーションや言動を否定された時の認知症の人の気持ちを疑似体験することで認知症ケアの気づきやヒントを講師、参加者間で共有していく。

- 4 対 象：医療・介護・行政で認知症の方に関わる仕事をされている人
- 5 申し込み方法等：別紙の申し込み用紙にご記入の上、FAX、MCS, メールにてお送りください。

問い合わせ先：88-8270(新見市在宅医療・介護連携支援センターまんさく)

F A X: 71-0309

e-mail: mansaku@kurokami.jp

M C S でも受け付けます

申し込みの締め切り：令和8年6月15日(月)必着

認知症の研修会(6/22)
参加申込書

事業所名	
電話番号	
FAX番号	
	参加者名(職種) ()
	参加者名(職種) ()
	参加者名(職種) ()
	参加者名(職種) ()

連絡事項等があればご記入ください

--

FAX : 71-0309

Emai : mansaku@kurokami.jp

MCSでも受け付けます

新見市在宅医療・介護連携支援センターまんさく 宛

締め切りは令和8年6月15日(月)です